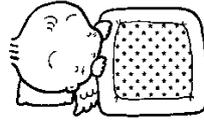


子育て支援情報紙

第278号

えんぜる



令和3年 7月 1日
足寄町教育委員会
Tel 0156-25-3188

足寄町教育委員会ホームページ [【www.town.ashoro.hokkaido.jp】](http://www.town.ashoro.hokkaido.jp)

7月

子育て支援カレンダー

紙面

二面・・・保護者の目線で情報「エソライチヨウってどんな鳥」
 三面・・・二面からの続き・休憩室 ※(子育ての悩みと英語で子育てはお休み)
 四面・・・お勧めの本「冒険図鑑」・「JISSがなまこ(おま)」・編集後記

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6 えんぜる編集会議 11:00~ 町民センター:会議室1	7 おはなしタンポポ 11:00~11:30 対象:3歳未満	8	9	10
11	12	13 リサイクルの日 10:00~11:15 町民センター	14	15	16	17
18	19	20 乳幼児相談 (フリー) 13:00~14:30	21	22 海の日	23 スポーツの日	24 絵本の会 はらっぱ 11:00~11:30 対象:小学生以下
25	26	27	28	29	30	31
<p> つどいの広場 ⇒ 子どもセンターで、毎週:月・火・木・金の9:30~11:30 事前予約不要、詳細は:TEL25-4415まで</p> <p> ひよこクラブ ⇒ 詳細はつどいの広場に掲示してあるポスターをご覧ください。問い合わせは:TEL25-4415まで</p> <p> 足寄動物化石博物館 ⇒ 詳細は TEL25-9100まで</p>						

☆子育て支援事業担当者からお知らせ☆

◇ 子育て支援・学習と交流の会「すくすく」では、育児に関する悩みの解消を図ることを目的として実施しています。講話や実習のほか参加者同士による子育て中の悩みの交流も子育て先輩と一緒にを行っています。是非ご参加ください。

なお、緊急事態宣言の延長に伴い5月からの開催を予定しておりましたが、お子様や託児者のことを考慮し、昨年と同様に9月からの開催としました。ご了承ください。

また、9月の開催日は場所確保の関係上、開校式を9月14日(火)町民センター会議室1・2とし、「前」子どもセンター長佐々木浩治氏の講話と一緒に開催します。

今後は8月いっぱいまで再募集期間として、まだ申し込まれていない方にも多くの参加者を募り、9月から安心安全の中での開催としていきます。楽しく実りある学習の場にしていきましょう。

エゾライチョウってどんな鳥？

足寄町のシンボルキャラクター「アユミちゃん」は、町民のみなさんの人気者ですが、町のシンボルの鳥が指定されていることはご存じですか？
それが今回ご紹介する「エゾライチョウ」です。

エゾライチョウってどんな鳥？

キジ目キジ科ライチョウ属の鳥で、日本では北海道だけに生息。一年中ほぼ同じ場所に住む留鳥です。

大きさ： 35cm くらい。ニワトリよりは小さくて、ウズラよりは大きい。ずんぐりと丸い体形。

色： 全体的にこげ茶色で、白、黒、茶色のまだら模様。



日本アルプスに生息するライチョウは、冬に全身白色になるけれど、エゾライチョウは一年中、色が変わらないよ。

鳴き声： 「ピー、ピピピピ」という笛のような声。

特徴： 短めの冠羽。

目の上に赤い部分（羽毛ではない）がある。
足（指以外）が白い羽毛で覆われている。
林の中を歩いてエサを探ることが多い。
長距離を飛ぶことは少ない。

どうして足寄町の鳥になったの？

町の開基 70 周年を記念し、足寄町では、「自然を愛し、郷土を愛する心をはぐくむ」ことをテーマに「町の花・木・鳥」を決めることとなりました。

そこで、当時の広報で町民から募集を行い、この結果に基づき

「エゾムラサキツツジ（花）」、「アカエゾマツ（木）」、「エゾライチョウ（鳥）」が

「町の花・木・鳥」として昭和 53 年 10 月 20 日に正式に指定されました。 【次ページに続く】

教育委員会の
加藤つばささんに
教えていただきました。

🍒 エゾライチョウに会えるかな？ 🍒

エゾライチョウは留鳥なので一年中出会うチャンスはあります。針葉樹や広葉樹が混ざった林の中の道をゆっくり進むと、ひょっこり砂利道に出てきて餌を食べているところに出会えるかも知れません。驚かせると飛んで木の枝に止まり、林の中に隠れてしまいますが、少し離れたところからじっと静かに見ていると、林道上でのんびりと食事を続けてくれたりもします。ずんぐりとした見た目とは裏腹に、細い枝先に止まって冬芽を食べたり枝の上をちょこちょこ歩いて移動したりと、意外と器用な一面もあります。

6月下旬から7月には、運が良ければ雛を連れた雌の姿を見ることが出来るかも知れません。そんなときは、驚かさないうちにそっと見守ってくださいね。

足寄町の鳥の先生
目黒文子さんに
お話を伺いました。

🍒 さいごに… 🍒

エゾライチョウを漢字で書くと「蝦夷雷鳥」となり、なんだか強そう…でも、調べていくうちに、「ずんぐりとした丸い体で、ひよこひよこことニワトリのように林道を歩きながら木の実などを食べるマイペースな鳥」というイメージが出来上がってきました。

そんな地味で憎めない感じの鳥ですが、実はとても“美味”らしいのです。大正時代には、北海道で年間数万羽が捕獲され、高級食材として欧米にも輸出されていたそうです。でも、1970年代からは、キツネの増加と共にその数が急激に減少しているとか。足寄町の鳥に選ばれた頃には、まだたくさんいる身近な鳥だったのかもしれないね。実際、最近でも中足寄や螺湾など、足寄町内の色々な場所で目撃情報はあつたようです。

この夏、山に出かけることがあつたらエゾライチョウを探してみませんか？

休憩室

【材 料】 (2人分)

そうめん 4束 (200g)
なす 1個
きゅうり 1本
トマト 1個
かに風味かまぼこ 4本
A: 鶏がらスープ 小さじ1
A: 濃口ごま油 大さじ2
B: 水 1カップ
B: 鶏がらスープ 適量

暑さに負けないように！

『夏野菜をとろう！冷やし鶏だしそうめん』

【作 り 方】

- ①なす、きゅうり、トマト、かに風味かまぼこはそれぞれ1.5cm角くらいに切って、ボウルに入れてAを混ぜ合わせる。
- ②別のボウルにBを入れて混ぜ合わせ、スープを作る。
- ③そうめんは表示通りにゆでて冷水で洗い、ザルに上げて水気をきる。
- ④器にそうめんを盛り、切った夏野菜をのせ、Bのスープを注ぐ。

暑い夏、そうめんやひやむぎ等、薬味でさっぱりも良いですが、夏バテ予防には夏野菜を足して食べると良いらしいですよ！

これから迎える、夏休みのランチにいかがでしょうか？

私が見つけたお勧めの『本』

『冒険図鑑』

文：さとうち藍 絵：松岡達英 出版社：福音館書店

「この本、俺も持ってた！」息子が手にしたこの本を、夫も子どもの頃に持っていたそうです。初版は1985年、今も書店に並ぶ名著は、対象年齢少年少女～大人まで。アウトドアで使える知識が満載です。ちり紙やゴムぞうり、ザックなど、昭和の表現がたまりません！でも自然は何も変わっていませんよね。これさえあれば、遭難しても数日は生きていける気がします(笑) もちろん野鳥の探し方も載っています。双眼鏡を持って、さあ！！冒険に出かけてみませんか？



『とりのずかんものしりあいうえお (コドモエのえほん)』

作：雨宮尚子 監修：安西英明(公益財団法人 日本野鳥の会) 出版社：白泉社

「あっさりつかまるアホウドリ」「すむのはひとのいるところスズメ」… かわいいイラストとあいうえおのキャッチフレーズで、日本の野鳥 56 種類をご紹介します。鳴き声、食べ物、見られる季節や場所、渡りの習性、絶滅危惧など、見分け方、観察ポイントがわかりやすく描かれています。この本を持って、身近な鳥の観察に出かけて見てはいかがでしょうか？



編集後記

足寄町民になって五年目になりました。引越してきてすぐに「えんぜる」の存在を知り、大切な情報源として必ず毎号楽しみに冷蔵庫に貼っていたのも懐かしい記憶です。

この度、編集委員となり、記事を書かせていただくことになりました。この情報紙を作ってくださった先輩たちの当時のエネルギー。そして、存続危機を乗り越えて受け継いできてくださった歴代編集委員のみなさんの思い。更には、強力なバックアップをくださる行政の方々に、感謝の気持ちいっぱい活動させていたただきたいと思っています。

えんぜるの紙面で「足寄にこんなところがあるんだ！」「こどもとの時間が楽しめた！」「気持ちが悪くなった！」「そんな発見や希望、安心を私は得てきました。今度私が記事を書くことで子育てに頑張るお母さんへ少しでもエールを贈れたら最高だなあと思っています。

今月号の話題の「町鳥」いかがでしたか？町の鳥がエソライチョウってご存知でしたか？我が家では雷鳥サンダーバードになり、列車の話題に脱線してしまうのでした。



(編集委員 H・M)